

茶臼原通信

令和3年度
3月号
発行：植野

3月24日は、 全校児童が参加する卒業式です

いよいよ令和3年度も、最後の月（3月）に入りました。思えば、この1年間も新型コロナウイルス感染症感染拡大防止策を講じながらの1年間でした。校内をアルコールでの消毒作業や手指消毒・マスク着用の徹底など、子どもや職員だけでなく、保護者の方々や天心館の先生方にもお願いをしておいた対策により、若干の規模縮小はありましたが、行事を中止にせず子ども達や保護者の方々と共に実施していくことができました。これもひとえに保護者の方々・天心館の先生方のご協力のおかげだと感謝しております。本当にこの1年間でたくさんの思い出ができたのでは…と思っています。

特に3月は「卒業式」があります。本年度、茶臼原小学校を卒業する子ども達は10名で、それぞれが近隣の中学校へ進学するため、このメンバーで過ごすのもあと少しとなってきました。だからこそ、6年生を送る卒業式は在校生全員で作りに上げていきたいと考えています。

卒業式に向けて、子ども達は歌の練習も早くから始めました。また、「別れの言葉」の台詞や歌も子ども達が考え、一人一人が思いを込めて練習しています。もしかしたら、コロナ禍のため歌や別れの言葉など歌えなくなったり、言えなくなったりすることも考えられます。しかし、卒業生にとっても在校生にとっても、心に残る卒業式になるよう子ども達も職員も願っています。だからこそ、せめて全校児童が体育館に集い、10名の卒業生の門出を心からお祝いしたいと思っています。

令和3年度『第76回 卒業式』は3月24日に行われます。

自分の命は自分で守ろう!

2月4日（金）は、避難訓練（火災）がありました。今回の避難訓練は子ども達には伝えておらず（当然、時間割にも載せていません）、緊急時の対応を身に付けるための予告無し訓練にしました。

「職員室から火が出ました」という想定で緊急放送を流しました。子ども達は教室から運動場へどのように避難すれば良いのか、避難する際の行動がしっかり身につけているのかも避難訓練の際の重要な点になります。



放送開始から1分30秒で子ども達の姿が見え始めました。そして、2分7秒で各担任の先生方から「全員無事避難しました。」と報告がありました。実質2分以内で子ども達は避難完了です。校舎は1棟しかなく逃げやすい構造にはなっていますが、無言で、しかも煙を吸わないように口元を押さえて移動する行動様式が身につけていることなど、これまでの避難訓練の成果が出ていたと思います。

3月の月目標

「できるようになったことを確認しよう」

3月は、生活面・学習面等、全ての面についてまとめの月になります。あと1ヶ月で上の学年や中学校に進級・進学していきます。本年度最後の月目標は「できるようになったことを確認しよう」になっています。できるようになったことを確認するためには、規則正しい生活習慣は当然ですが、現在の学年の学習内容をしっかりと定着させておかなければなりません。

そこで、本校では3月7日（月）～18日（金）までの2週間は「茶小学びの確認の時間」を設定し、国語・算数の履修内容の定着を図っていきます。子ども達が来年度、スムーズに学習に入っていくためにも必要な時間だと考えております。

なわとび大会 「八の字バトル!!」

2月17日（木）になわとび大会を実施しました。第1回の大会は「個人戦」だったのに対して、今回は「団体戦」、長縄を使っての八の字バトルです。この日のために、子ども達は体育の時間や昼休みに練習を行ってきました。低学年・中学年・高学年のチーム毎に5分間の連続八の字跳びにチャレンジしました。

ルールは、5分間で八の字跳びを連続何回跳べるかで競います。一度でも掛かってしまったら、また最初からのチャレンジになります。低学年チームだけは、掛かってしまってもそのままカウントされます。ここは、中学年・高学年は意地を見せることになりました!

トップを切って、中学年チームが5分間の演技にチャレンジします。



中学年チームは、連続八の字が173回でした。次にチャレンジしたのは低学年です。



低学年チームは、なんと186回でした。

そして、ラストを飾るのは高学年チームです。高学年は体育の時間などでは、300回超えを経験しています。



高学年チームは、惜しくも96回でした。しかし、最高のパフォーマンスを見せてくれました。

どんな状況でも、諦めずに最後まで頑張る茶小っ子は、「学校の誇り」です!!

楽しかった! お別れ遠足

2月25日（金）は、「お別れ遠足」でした。天気も良く、まさに遠足日和でした。2年ぶりのお別れ遠足に、子ども達は朝からニコニコでした。

